

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月25日

計画の名称	鈴鹿市における大規模盛土造成地変動予測調査の促進のための計画												
計画の期間	令和02年度 ～ 令和02年度 (1年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	鈴鹿市												
計画の目標	地震時に被害が大きいとされる大規模盛土造成地の安全性の検証（第二次スクリーニング）のため、第二次スクリーニングのための計画作成を行い、大規模盛土造成地マップを高度化する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	市内の大規模盛土造成地における第二次スクリーニング計画作成率とする。 市内の大規模盛土造成地における第二次スクリーニング計画作成率（%） 第二次スクリーニング計画作成箇所数 / 大規模盛土造成地箇所数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>事業担当課である鈴鹿市都市整備部都市計画課にて事後評価を行った。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和3年1月</p> <p>公表の方法</p> <p>鈴鹿市ホームページにて公表</p>
--	--

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>一次スクリーニングで作成した大規模盛土造成地マップを現地踏査等で高度化し、より正確に鈴鹿市内の大規模盛土造成地を把握できた。 また、作成したマップを今後公表することにより、市民の防災意識向上を図るものとする。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>被災宅地応急危険度判定の際に、大規模盛土造成地マップを活用することで2次災害の軽減、防止等の市民の安全確保にも寄与できると考えている。</p>

○特記事項（今後の方針等）

<p>（この欄は空欄です）</p>

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング計画作成率（%）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%